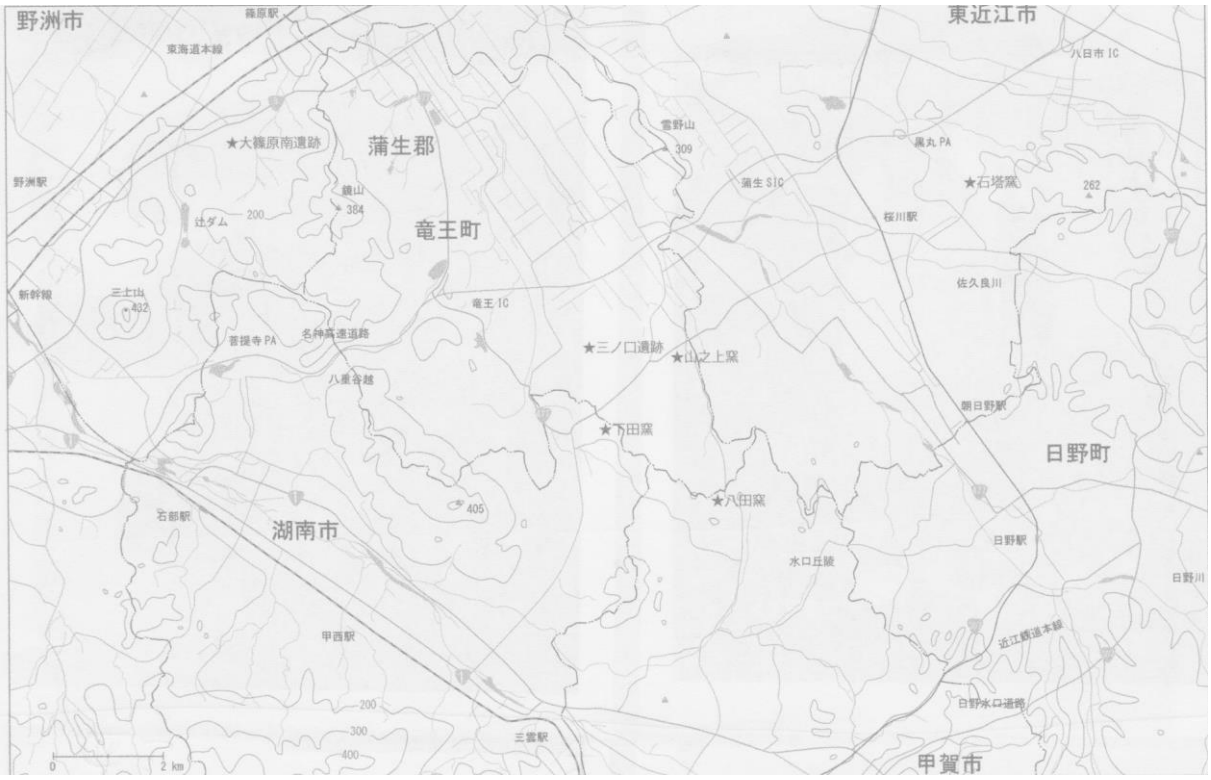
山之上遺跡・三ノ口遺跡出土遺物概要報告

稲垣正宏

目次

①遺跡の位置と環境・・２頁
②整理調査経過・・・２頁
・はじめに・・・２頁
・山之上遺跡・・２頁
・三ノ口遺跡・・３頁
③出土遺物・・・３頁
・山之上遺跡・・３頁
・三ノ口遺跡・・３頁
④まとめ・・４頁
註・・４頁
⑤出土遺物観察表



第１図　遺跡位置図　湖東地方近世窯跡分布図

①　遺跡の位置と環境

今回報告する「山之上窯跡」は竜王町山之上地先、三ノ口遺跡は同岡屋地先(註 1)に所在する。共に竜王町南部に広がる水口丘陵上に立地し、前者では切断された窯体と物原跡が確認され、窯道具、製品が出土した。後者では窯道具と製品が溝に並ぶ遺構が検出されている。

周辺に所在する近世・近代窯をあげると、水口丘陵上では両窯の南に、近世に由来し今も煙を上げる下田窯(湖南市)、八田窯(甲賀市)があり、北東の布引丘陵に残る「石塔窯跡」(註 2)は平成 6 年(1994)に物原部分と窯跡の一部が発掘調査され多くの遺物(製品･窯道具)が出土している。

また、北西の鏡山丘陵には、明治時代の陶器窯「大篠原南遺跡」(岡田斉造窯　註 3)があり、両遺跡周辺は大生産地である信楽以外では、大津市南部に並ぶ近世・近代窯跡集中地と言える。

②　整理調査経過

・はじめに

今回の整理調査の端緒は、著者が平成 6 年(1993)9 月 1 日に竜王町内の国道 477 号線沿で目撃した「山之上窯体跡」(第 3 図 1、2 図 2)のことを 20 年ぶりに思い出し、当該窯跡出土遺物について竜王町教育委員会(以下町教委と略)に問い合わせたことに始まる。

町教委から「当時の未整理遺物を所蔵している」との答えを得たので、平成 26 年 10 月 14 日に竜王町に出向き「山之上窯跡出土遺物」を確認した。また、平成 20 年度の「竜王町内遺跡発掘調査概要報告書」(註 4)に記載済の「三ノ口遺跡出土遺物」と「同概要」未記載の「三ノ口跡出土遺物」も確認し、その場で「山之上窯跡出土遺物」の整理調査(遺物実測、写真撮影、デジタル合成、レイアウト)の実施を申し出て、承諾を頂いた。

同年 11 月に 2 日間、平成 27 年 1 月に 2 日間、「山之上窯跡出土遺物」の実測と写真撮影を行いその後、「社会福祉法人来島会　ドローイング工房クラフトマン」においてデジタル合成、レイアウトを実施、関連図面、遺物観察表を完成させた(第 1 図～6 図　第 1 表)。

その後、町教委から「三ノ口遺跡出土遺物」の「未整理品があった」との連絡があり、同年 4 月、町教委に出向き 陶片・瓦片 5 点を確認した(第 11 図 79～82　以下 11-79～82 と略)が、その中には「刻印を持つ匣鉢・平瓦」(11 - 81、82)などの貴重な資料が含まれていた。

町教委では上記の調査を踏まえ、山之上、三ノ口両遺跡出土遺物の総合的な資料集(註 5)を作成することになり稲垣も協力した。本報告は上記資料集の概要で、内容は「山之上窯跡出土遺物(第 1 図-6 図」「三ノ口遺跡出土遺物(第 8 図 - 11 図　町教委整理報告分)」「三ノ口遺跡出土未整理品遺物(第 11 図 79-82)」など未報告の 3 件と「三ノ口遺跡の「平成 20 年度概要報告掲載遺物実測図、遺物観察表(12 図-21 図)の再掲」の計 4 件である。

・山之上遺跡

山之上遺跡は、山之上集落の南側台地上の「山ノ神が立つ小墳丘」に築成された連房式登窯で現在は国道 477 号線沿いに立地する。窯体は焚口が北側で南に向かって登っている。国道 477 号

線工事により墳丘の北側が削られ、室の断面と物原が露出していた(3 図 1、2)。町教委では確認調査を行い周囲に散乱していた遺物を収集している。現在、墳丘の形状は窯跡の確認時と変わらないが、草が繁茂し窯室の露出は隠されている。

・三ノ口遺跡

平成 19 年(2006)7 月 31 日～8 月 2 日に発掘調査が実施された。主要な遺構は「トレンチ 2」内の幅 2m長さ 15m の溝で、溝の西端には匣鉢 37 点を半分に割り土管状に連ねた列が有り、南端には大甕が置かれている(3 図 3)。匣鉢の間には壷や瓦なども並べられている。

③出土遺物

出土遺物の詳しい観察は「出土遺物観察表」に譲り、本文では要点を記したい。

・山之上遺跡

遺物は「陶器」ばかりで磁器は含まれておらず、窯道具は土鍋の焼台(5-20)、ワドチ(碗・鉢用、土鍋用)が見られる。製品の器種は筒碗、土瓶、行平、鉢等が主要製品で香炉、灯明皿、壷、大型の甕、鉢も散見される。土瓶は「算盤玉型土瓶」(4-1、2、3～5) 「算盤玉型土瓶蓋」(5-30、6-41、42)、「扁平型土瓶蓋」(4-6、5-23)が確認されている。

・三ノ口遺跡

窯道具は匣鉢、ワドチ、板、方形柱がみられる。匣鉢には、碗、小皿用の小型のもの(8-19、20 9-25、26、16-39～44)、注口が突出する「行平」を焼成するために口縁を「U字状」に抉る物(8-22、24) (15-31～33、36、16-37, 41)と皿用の平たいもの(8-23、9-33、34、19-66、67) 底のない匣鉢(21-75)もある。(8-23) は底部内面に陶器の小環が付着している。製品の一部と考えられるが、それ以上のことは 1 分からない。

ワドチも大きさと密着痕から碗・皿用と土瓶・土鍋用に分けることが出来るが、(21-78～80)は大きさと密着痕から碗用と思われ、また、ワドチを使わない重焼きは「針ピン」が用いられたようである (7-4) 。板には匣鉢やトチンの痕跡が残るものがある。 (21-76)は焼台で唯一の出土例である。(20-74)は 2 次焼成を受けて赤化した丸瓦で板として用いられたものである。
11-82 は平瓦の小口に「山　上」の刻印を持つ瓦である。11-81 は「鍵括弧に十」を組み合わせたような印をしるす匣鉢である。山之上窯出土の製品に刻印があるものはなく、窯印もこれが唯一の例であるが意味は分からない。

三ノ口遺跡出土遺物は山之上遺跡と比べると波佐見染付磁器(13-15)や信楽焼徳利(13 - 17)、信楽焼甕(21 - 81)等、隣接していたと思われる窯跡関連資料ではない遺物が含まれている。製品の器種は、丸碗(7-1、13-16)、筒碗(13-18)、皿(14-29、30)、土瓶、徳利、土鍋、鉢等が主要製品で香炉、灯明皿、灯明台、壷や大型の甕も散見する。

扁平型土瓶土瓶(13 - 12)とセットとなる蓋(13-5、7)、算盤玉型土瓶(13-14)とセットになる蓋(13-8、9、14-19)が確認されている。出土品は量産品が中心であるが注文品と思われる水指の蓋(11-78)も出土している。

④　まとめ

両遺跡の性格を比較すると山ノ上遺跡は窯跡と物原のみで構成されるため出土遺物は窯由来のものばかりであるが、三ノ口遺跡出土遺物は、窯とは直施関係ない列状遺構を構成するもので、波佐見焼や信楽焼製品が混じっているなど近隣に存在すると思われる雨宮焼窯跡由来のものばかりといえない。

周辺窯跡の比較では、山之上遺跡出土品は、製品、窯道具とも石塔窯に似ていて、18 世紀末から 19 世紀のものと思われるが、はっきりとした年代を決定するには、製品の量が少ない。

三ノ口遺跡列状遺構は、他窯製品の混入があり、徳利(13-17)は、幕末期・明治初期の信楽窯所産なので、山ノ上遺跡より時代が下がると思われる。

山之上からは刻印のある平瓦が出土しており、三ノ口では瓦が窯道具に転用されている。湖東平野には多くの瓦産地があり、陶器に使用できるような良質の粘土がある山之上地区に瓦窯があってもおかしくない。また石塔窯(註 6)でも窯道具に瓦が転用されており、陶器生産と瓦生産の関連が推測されるので、同様の例が両窯でもあったかもしれない。

註

1　『竜王町埋蔵文化財発掘調査報告書第８集　竜王町内遺跡調査発掘調査外洋報告書　平成 18 年度～19 年度　第 3 章　三ノ口遺跡』　2009　竜王町教育委員会

2　『主要地方道八日市蒲生線道路改良事業に伴う発掘調査報告書　竹ノ鼻遺跡　蒲生町石塔』　平成 10 年 12 月　滋賀県教育委員会　財団法人滋賀県文化財保護協会

3　『野洲町文化財資料集　　昭和六三年度　野洲町内遺跡発掘調査概要　一九八九・三　野洲町木教育委員会』　大篠原南遺跡　1　岡田斉造窯

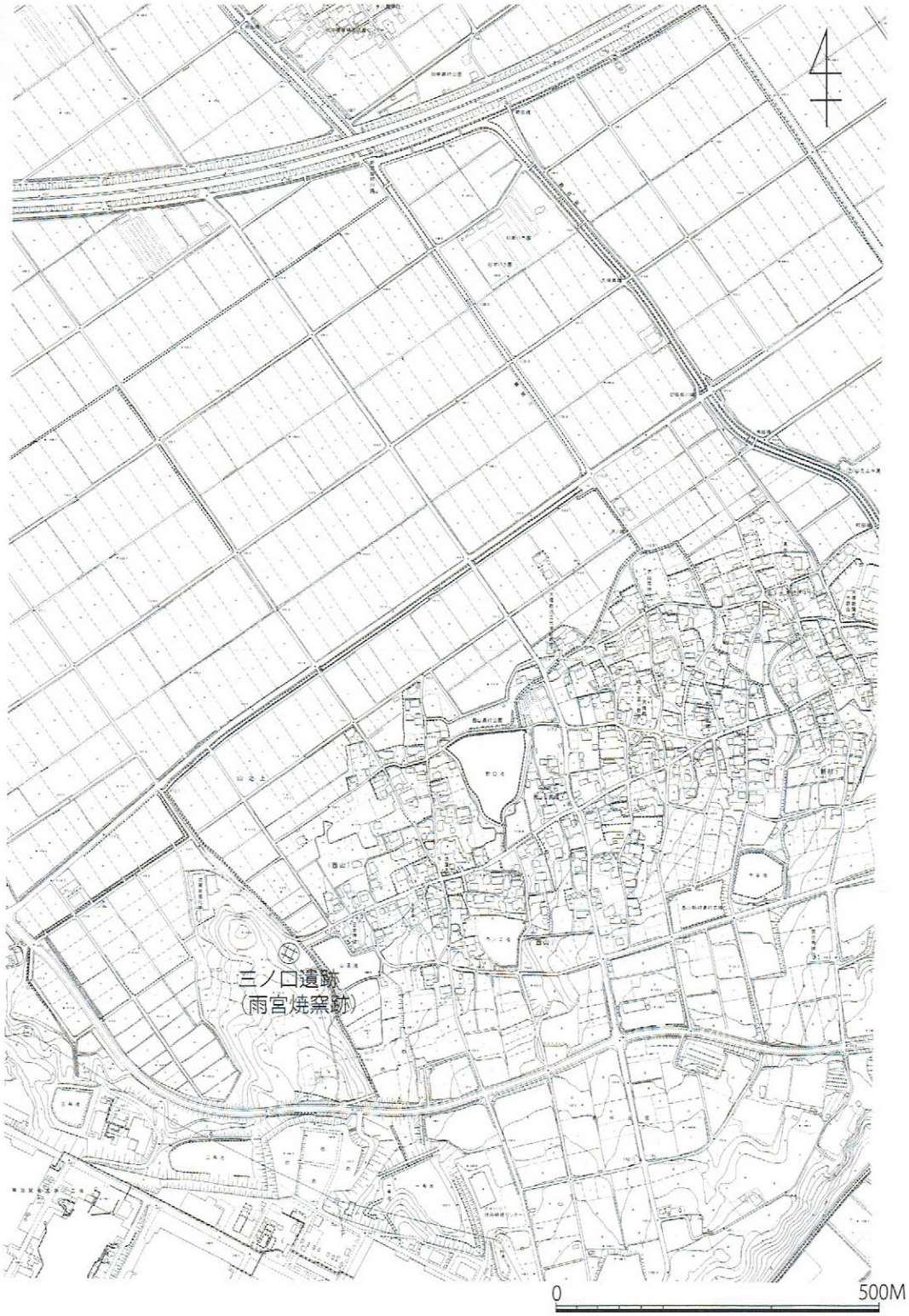
4　註 1 と同じ

5　『竜王町文化財資料集第４集 竜王町埋蔵文化財発掘調査資料集Ⅳ - 山之上焼・雨宮焼 編 - 2016 年 3 月 30 日　竜王町教育委員会

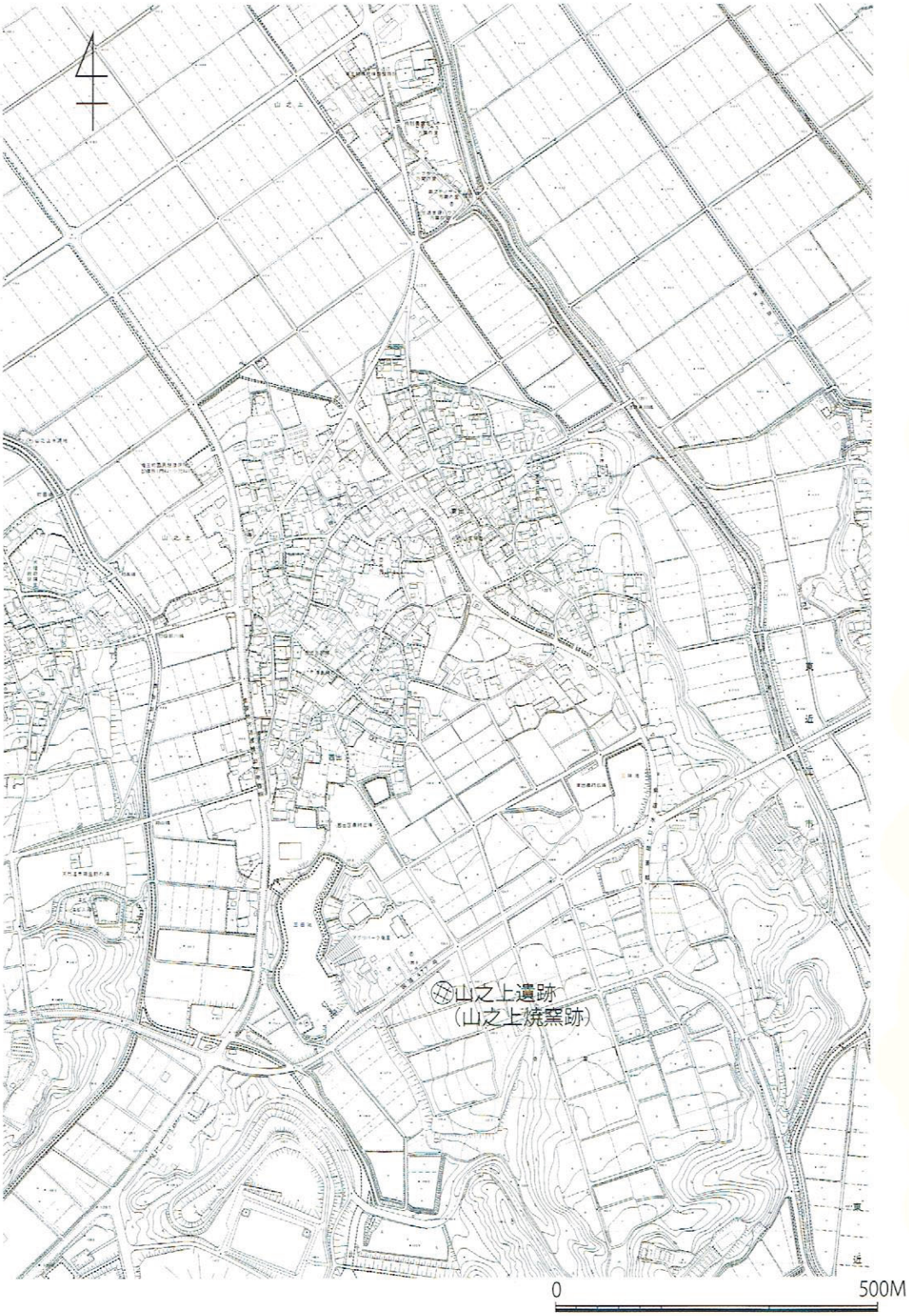
6　註 2 と同じ

※本報告に使用した写真・図面の内　第 2 図 1・2、3 図 3、7 図～21 図につきましては、竜王町教育委員会の提供を受けました。

また、本報告の作成に関しては、竜王町教育委員会　冨田尚弘氏　大東　悟氏　鳩代綾子氏にたいへん御世話になりました。記して謝意を表します。



第2図 1三ノ口遺跡位置図　　図面提供 竜王町教育委員会）



第２図2 山之上遺跡位置図　図面提供（竜王町教育委員会）

山之上窯　窯室部　（道路工事により出現）

山之上窯　窯室部　（道路工事により出現）　近景

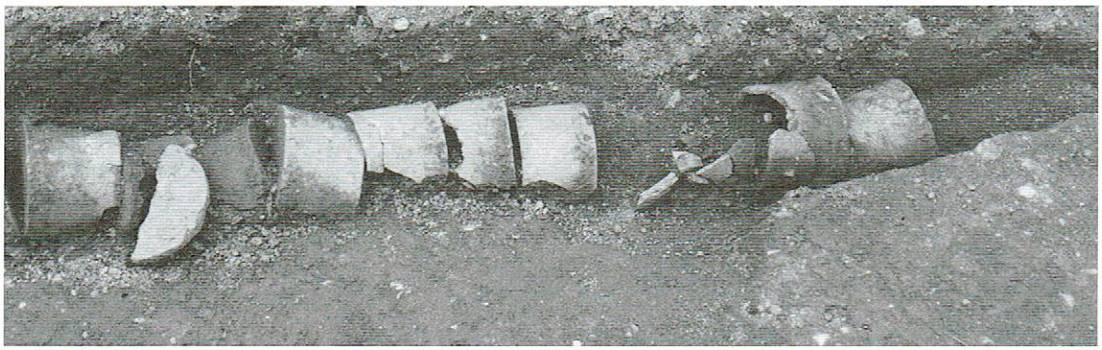
第3図 1 山之上遺跡遺構写真(1)

山之上窯　物原　（窯東部）

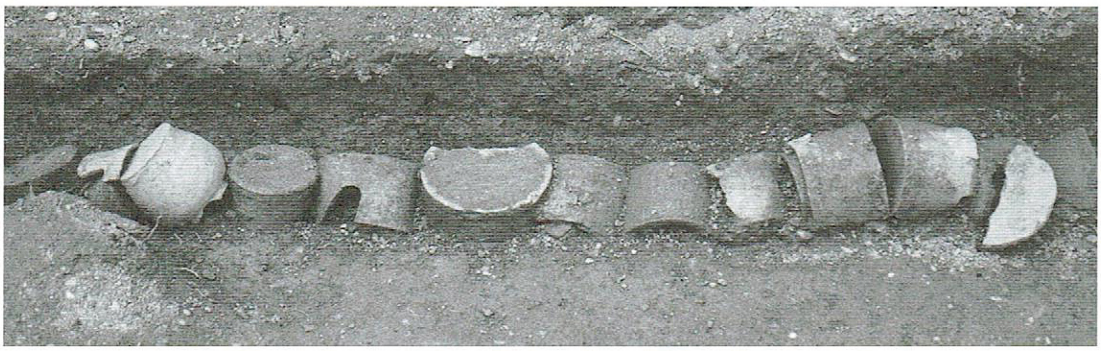
山之上窯　物原　（窯西部）

第3図 2 山之上遺跡遺構写真(2)

三ノ口遺跡遺構写真　匣鉢等列状遺構



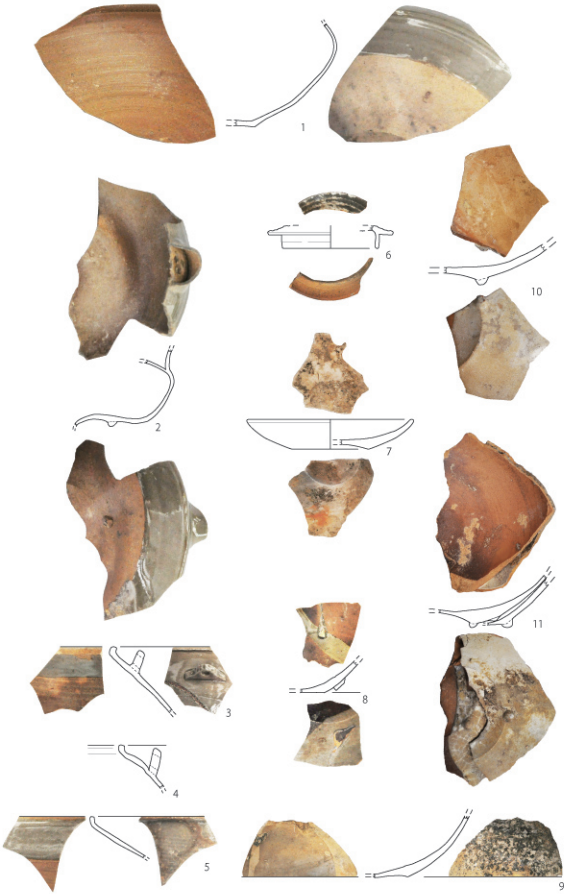
三ノ口遺跡遺構写真　匣鉢等列状遺構（北端部）



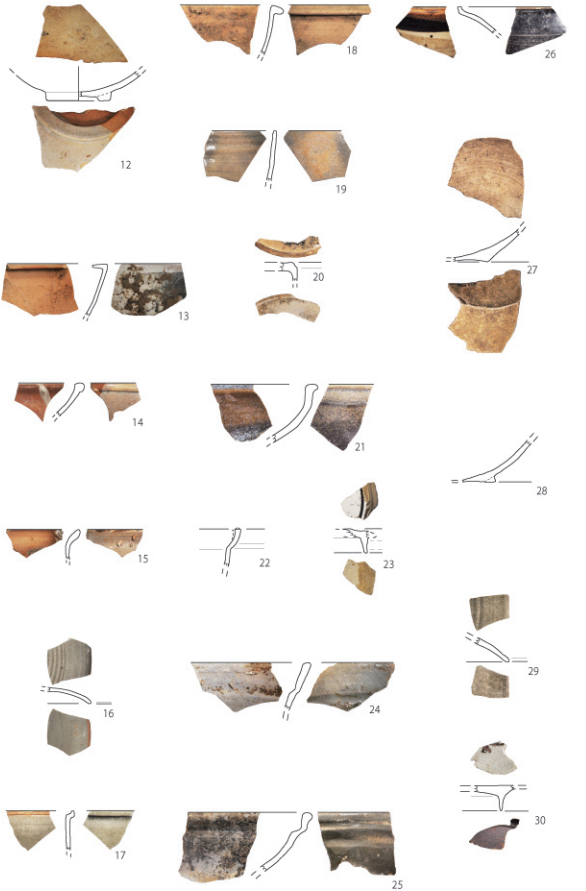
三ノ口遺跡遺構写真　匣鉢等列状遺構（中央部）

三ノ口遺跡遺構写真　匣鉢等列状遺構（南端部）

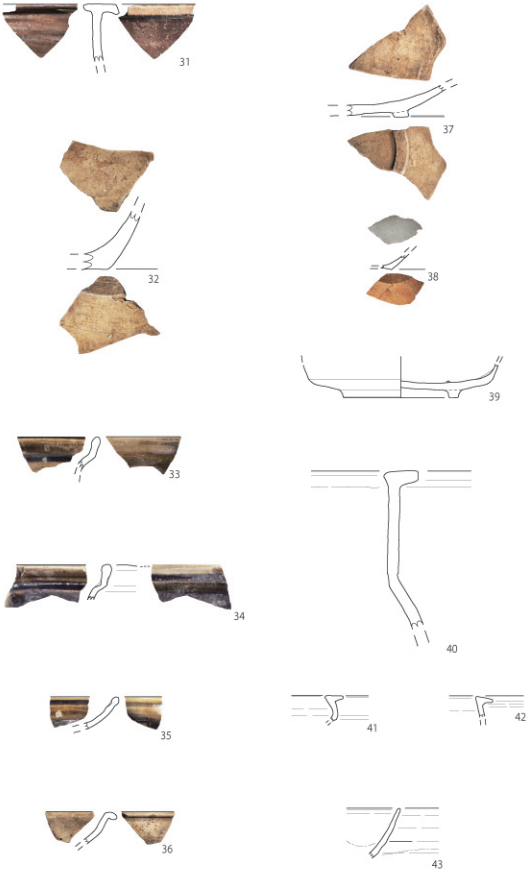
第３図3　三ノ口遺跡遺構写真　写真提供 竜王町教育委員会）



第4図　山之上遺跡出土遺物(稲垣正宏まとめ分)　S＝1/3



第5図　山之上遺跡出土遺物(稲垣正宏まとめ分)　S＝1/3



第6図　山之上遺跡出土遺物(稲垣正宏まとめ分)　S ＝1/3